

ReaD&Researchmapと学認

独立行政法人科学技術振興機構
知識基盤情報部
坂内 悟

2012年3月5日

学認シンポジウム2012

ReaD&Researchmapとは

◀ReaD & ◀Researchmap

日本語 | English | 新規登録 | ログイン

ホーム ▶ 研究者検索 コミュニティ検索

研究者検索
絞りこみたい項目をチェック

エリア

北海道
東北
関東
中部
近畿
中国
四国
九州
その他

機関

- 国立研究機関
- ✓ 独立行政法人
- 大学共同利用機関法人
- 公認試験研究機関
- ▶ 学校機関
- ▶ 公益法人等
- ▶ 企業研究施設
- その他機関

さらに絞りこむ

独立行政法人科学技術

研究者氏名

所属

研究キーワード

研究分野絞り込み 大分類 -- 指定なし -- 中分類 -- 指定なし --

最終更新日 以内

検索 クリア

検索結果 総件数: 349件

< 4 5 6 7 8 9 10 11 12 >

坂内悟
独立行政法人科学技術振興機構
知能基盤情報部
調査役

黒澤 宏
独立行政法人科学技術振興機構
サテライトセンター
部長

森口 佑介
上越教育大学
学校教育研究科 (研究院)
講師

中村 亮介
独立行政法人科学技術振興機構

吉田 直哉
工学院大学
工学部 環境エネルギー化学科
助手

岡 寿樹
独立行政法人科学技術振興機構
さきかけ研究室

中川 正広
独立行政法人科学技術振興機構
イノベーション推進本部基盤研究開発評価スタッフ
主任研究員

武田 陽一
独立行政法人科学技術振興機構

◀ReaD & ◀Researchmap

日本語 | English | 新規登録 | ログイン

ホーム 研究者検索 コミュニティ検索

坂内悟

マイボータル
研究ブログ
資料公開

おとなりの研究者 | 注目の...

植松利晃 12/09 更新
松島 勝治 10/20 更新
植波 五朗 06/07 更新
高久 雅生 06/05 更新
大山 敦三 02/08 更新
根岸 正光 10/23 更新

more...

坂内悟
更新日: 12/02/12 12:21

研究者氏名 坂内悟

所属 パンナイ サトル

部署 独立行政法人科学技術振興機構

職名 知能基盤情報部

調査役

その他の所属 聖学院大学

プロフィール

東京 都出身。精工会勤務、大塚商会勤務を経て、現在は、科学技術振興機構に勤務。分散型デジタルコンテンツ統合システム、失敗知識データベース、WEBラーニングプラザ、JDreamIT等のデータベースシステム開発に携わる。現在は、ReaD&Researchmap、J-GLOBAL、学会名鑑Webを担当している。

研究キーワード

二次情報データベース(1)

論文 テキストで表示

研究資源・研究情報のエコサイクルの確立を目指して ReaDとResearchmapの統合がもたらすもの
新井 紀子, 坂内 悟
情報管理 54(9) 533-544 2011年12月 [直読有り]
科学技術振興機構が提供してきた研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD)と、情報システム研究機構が提供してきたResearchmapは2011年11月をもって正式統合を果たし、ReaD&Researchmapとして新たなサービスを開始した。本稿では、研究資源・研究情報が各時代のニーズおよび技術の下でどのように収集・活用されてきたかを概観するとともに、研究資源が発生時点からデジタルであるようなポーンデジタル時代に学術研究情報のエコシステム(循環型情報活用基盤)を今後いかに確立すべきかについて述べる。

J-GLOBAL(科学技術総合リンクセンター)における情報連携の取り組み(特集:統合基盤)
松島 勝治, 植松 利晃, 岡田 崇生, 治部 真里, 堀内 美穂, 山田 直史, 坂内 悟, 齋藤 隆行
情報の科学と技術 61(9) 336-342 2011年9月 [直読有り]
独立行政法人科学技術振興機構(JST)が提供するJ-GLOBALは、産学連携や研究課題立案における課題探索(抽出)において業種を超えた情報収集や、新たな発想を支撑するサービスである。JSTは、J-GLOBALを介してJST内外のさまざまな専門的なサービス等と連携し、質の高い科学技術情報をより効果的に流通させることで、わが国のイノベーション創出に貢献することを目指している。本稿ではJ-GLOBALが実現している「統合検索」機能を中心に、サービスの現状、今後の展望について紹介する。

サイエンスリンクサービスによるJST事業成果分析(FI)可視化の具体的な手法
藤合 圭, 小林 義典, 橋本 定幸, 塩尻 美菜子, 山崎 雅和, 栗原 正昭, 浜中 寿, 坂内 悟 (独立行政法人科学技術振興機構イノベーション推進本部情報提供部), 國谷 実, 治部 真里 (独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター)
情報管理 52(11) 651-659 2010年 [直読有り]

ReaD&Researchmapとは

- 日本の研究者総覧を目指す
- ReaDとResearchmapが統合したサービス
- 研究者22万人が登録
- ソフトウェアの研究開発は、NII
- サービスの運営は、JST

経緯

- 統合前のReaD
 - 研究者情報の提供を主たる目的としたサービス
 - 情報の閲覧者は、登録した本人以外を想定
 - [J-GLOBAL](#)で情報表示
- 統合前のResearchmap
 - Web上の研究基盤として、研究者が情報の共有
 - 情報発信できる情報を登録する研究者自身のためのサービス

研究者情報の登録・更新方法

- 研究者自身による登録・更新
 - Webインターフェース
 - 最初の登録は、3通り
 - 科研費研究者番号を記載して申請
 - 既に登録されている研究者からの招待による申請
 - 研究業績を1件記載して、登録申請
- 研究機関による一括登録・更新
 - Webインターフェースで研究機関担当者がアップロード(2012年3月を予定)、夜間更新

研究者自身による登録・更新

- 外部システムからの研究業績のフィード
 - CiNii、PubMed、Amazon、ArXiv、CiteSeer、KAKEN、J-GLOBAL (2012年3月開始予定)
- J-GLOBAL
 - 日本人の研究成果を網羅的に収録する方向でコンテンツ整備
 - 論文情報だけでなく、特許情報についても、電子化された1993年以降の日本特許(約900万件)の収録・公開
 - 論文情報については、JDream IIに収録されている文献情報(1975以降)に加え、昨年度には、Web of Scienceの日本人の研究成果の情報の遡及搭載を行った。
 - Scopusの日本人成果についても過去分に遡及して搭載(2012年7月開始予定)
- これらにより、ReaD&Researchmapにおいては、利用契約がない有料のデータベースに収録される情報(書誌情報のみ、抄録は含まない)についても、研究者は簡単に業績としてフィードができる。

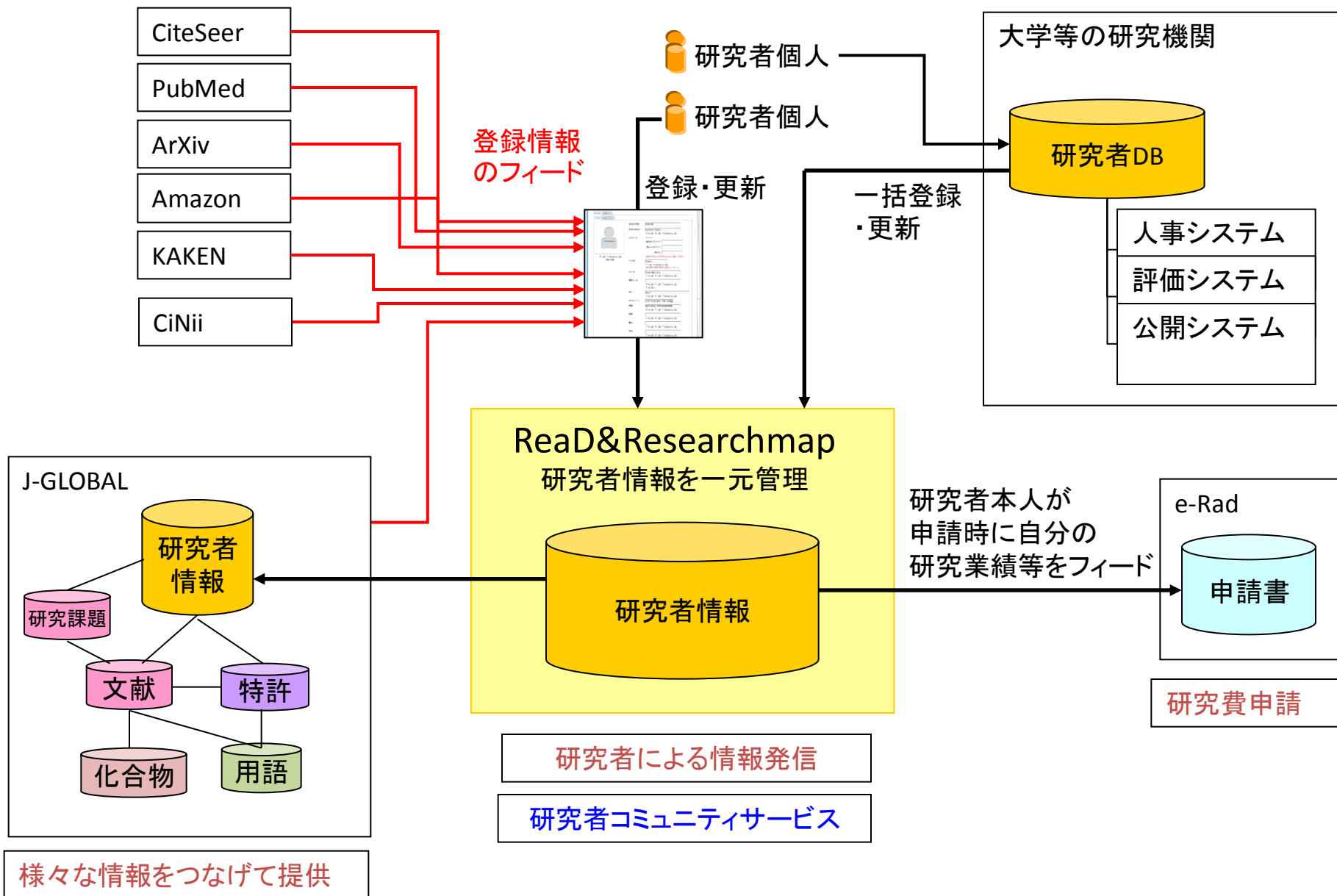
業績フィードのイメージ

The screenshot displays the ReaD & Researchmap web interface. On the left, there is a navigation menu with 'マイポータル', '招待する', and 'メッセージ'. Below it is an 'お知らせ' (Notice) section with a list of recent updates from February 16 and 18, 2011, including links to science cafes and research association meetings. The main content area is titled '論文' (Papers) and shows a list of publications with search filters for language (Japanese/English) and visibility (Public/Non-public). A search dialog box is open on the right, titled 'J-GLOBALからの論文取り込み' (Import papers from J-GLOBAL). It contains search criteria: '研究者' (Author) set to '坂内悟' (Waku Sakai) and 'キーワード' (Keywords) set to '科学技術振興機構' (JST). There are checkboxes for '日本語CVに取り込む' and '英語CVに取り込む'. The dialog lists search results, including a paper by Sakai Waku and others from J-STAGE, and a paper from the Digital Library of Science (JLIS).

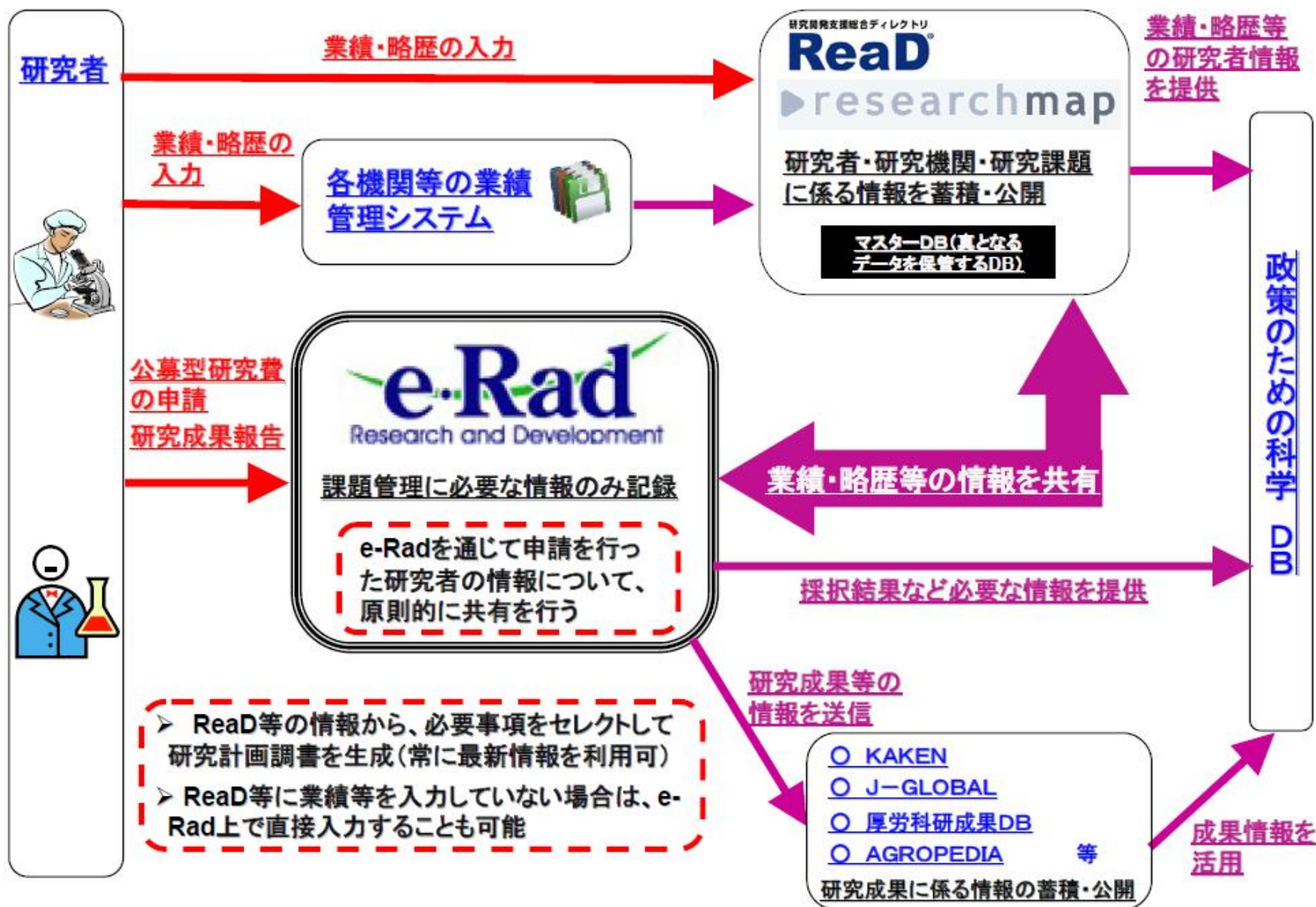
研究機関による一括登録・更新

- 大学等を中心として150機関の協力
- 所属機関からの一括更新データを活かすか、自ら直接Webで登録したデータを活かすかは、研究者本人の意思で、決定
- ReaD&Researchmapデータを研究機関の研究者データベースシステムにAPIを通じて取り込むシステムの普及を推進
- 研究機関が導入する研究者データベースシステム(研究業績管理システム)のパッケージを開発・販売するソフトウェア会社大手4社に協力を要請し、4社とも協力の内諾

ReaD & Researchmapと他システムとの関係



各システムの連携案（概念図）



学認を利用した認証対応

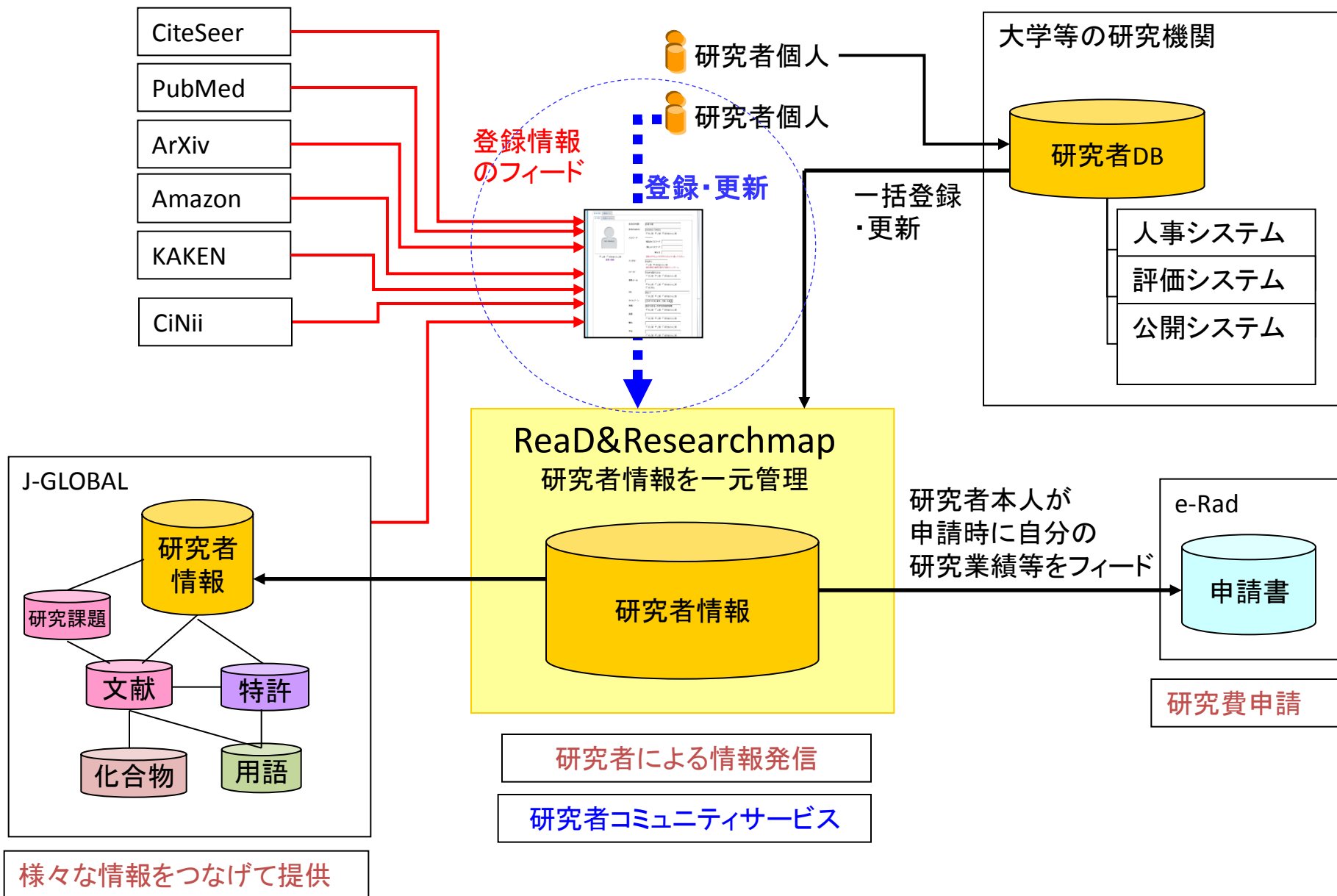
- Step1

ReaD&ResearchmapはSPとして学認に参加（
目標2012年度当初）

→学認利用の各大学等の機関環境から

ReaD&Researchmapシングルサインオンが可能となる。

ReaD & Researchmapと他システムとの関係



- CiteSeer
- PubMed
- ArXiv
- Amazon
- KAKEN
- CiNii

登録情報のフィード

登録・更新

大学等の研究機関

研究者DB

- 人事システム
- 評価システム
- 公開システム

ReaD&Researchmap
研究者情報を一元管理

研究者情報

研究者本人が申請時に自分の研究業績等をフィード

e-Rad

申請書

研究費申請

- 研究者による情報発信
- 研究者コミュニティサービス

J-GLOBAL

研究者情報

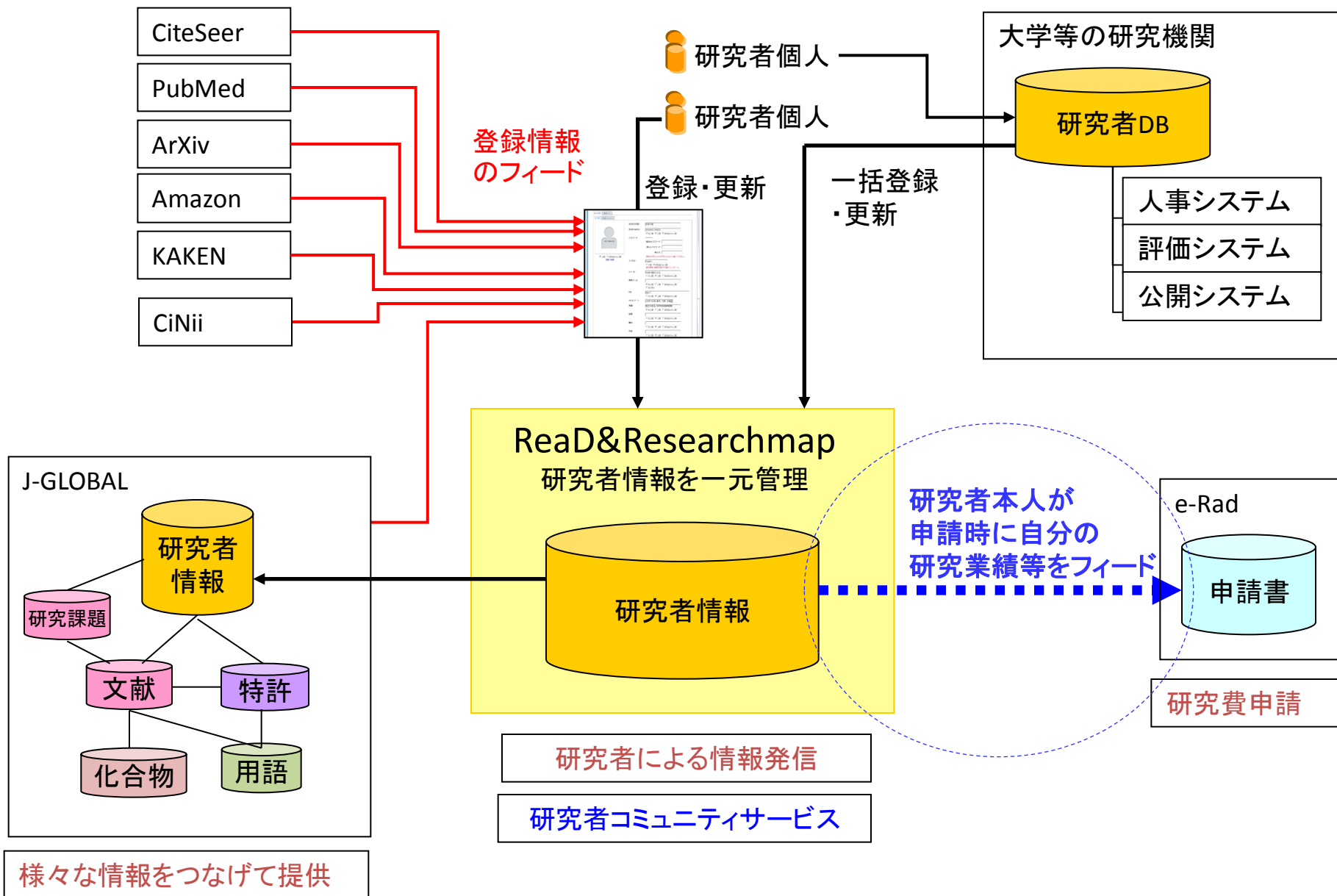
- 研究課題
- 文献
- 特許
- 化合物
- 用語

様々な情報をつなげて提供

学認を利用した認証対応

- Step2
次期e-Radシステムは、IdP、SPとして学認に参加（2013年1月を目標）
→ e-Radシステムで学認の認証を受けた利用者からのReaD&Researchmap シングルサインオンが可能となる。

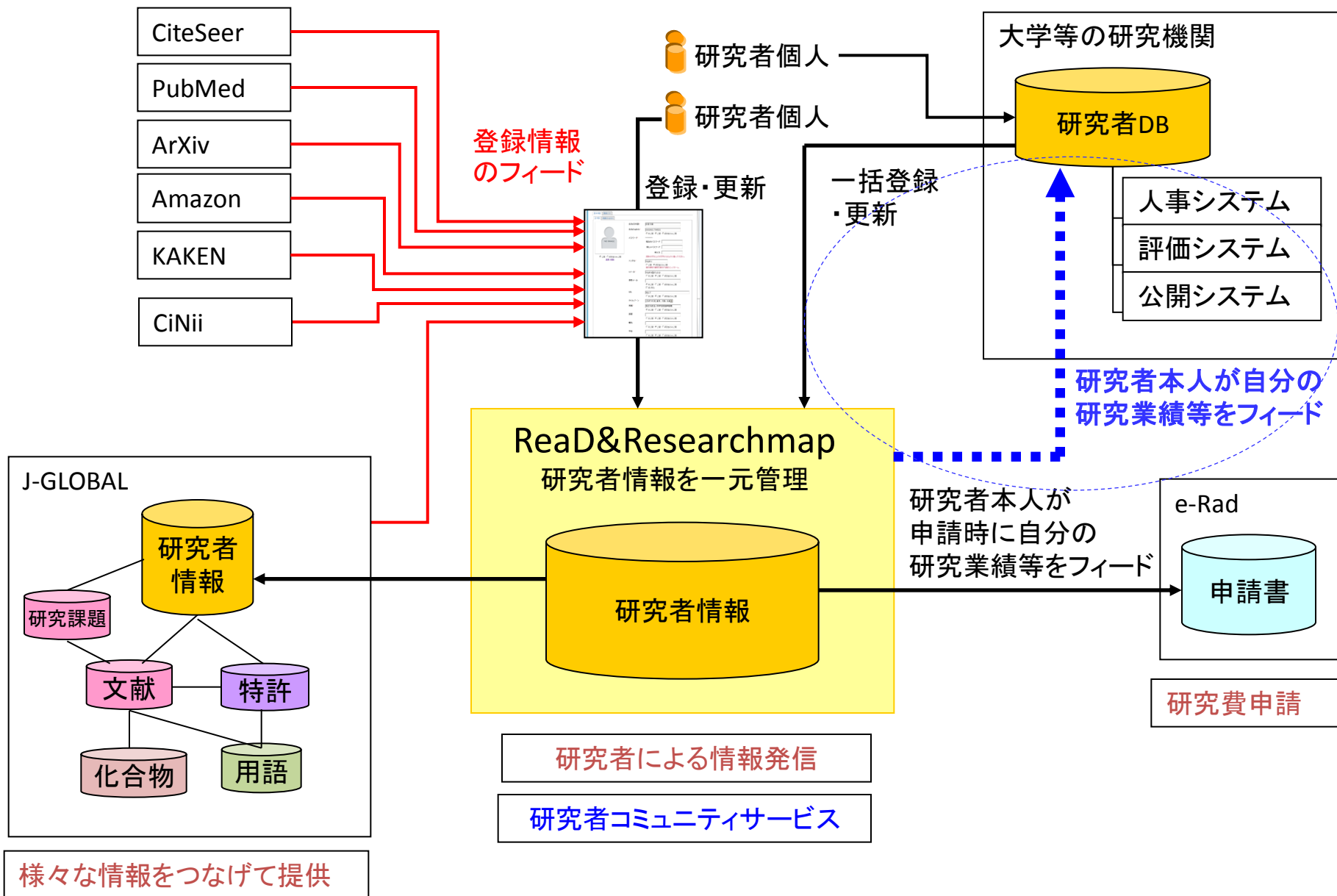
ReaD & Researchmapと他システムとの関係



学認を利用した認証対応

- Step3 (将来の構想)
大学の研究業績入力システムの学認参加
→ ReaD&Researchmapに登録された研究業績を大学の研究業績入力システムにシングルサインオンし、フィードが可能。

ReaD & Researchmapと他システムとの関係



課題

- 研究機関の研究者データベースの更新と ReaD&Researchmapのデータ更新のタイムラグ
- 登録データの利用目的と研究者・研究機関の協力のバランス